※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　理科

教科	理数	科目	理数生物	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	生物（数研出版）						
副教材等	セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書を中心に１年生で学んだ生物基礎・生物の知識を深化させて学習する。また１年次より継続して観察や実験を行い、予想や考察力を身に付けてもらう。

１年次より引き続き日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味を持ち、その法則性について考察し、疑問に感じたことを確かめてみるという姿勢・態度を持つこと

２　学習の到達目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度の基礎を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・原則の理解を深め、科学的な自然観を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	教科書で学習した知識に留まらず、自分の毎日の生活に当てはめて、その知識を利用していけるかどうか。観察・実験の基本操作を習得するとともに、自然の事物・現象を科学的に探究する方法を身に着けているかどうか。	授業時や実験時に、学習内容を聞き取り、発言や話し合いのなかで、自分の考えをまとめられるか。	日常生活の中で起こる自然現象に興味を持ち、その法則性について考える態度を持ち、それを確かめてみようとする姿勢を持っているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生物の進化	生命の起源と細胞の進化 遺伝子の変化と多様性 遺伝子の組み合わせの変化 進化のしくみ 生物の系統と進化 人類の系統と進化	a：生命の起源と生物の進化の道筋について学び、生物進化がどのようにおこってきたかを調べようとする 進化がどのように裏づけられ、そのしくみがどのように説明されているかを調べようとする。自然選択による進化を考える態度を育てる。 生物の分類の方法、系統を明らかにする方法、現在明らかになっている生物の系統を調べようとする態度が育っている。 b：化学進化や生物進化、それに関係する地球環境の変化、人類の進化を考えることができる。生物進化がどのようにして起こるのか、生物の遺伝と進化のかかわりや進化のしくみ、種分化を話し合いながら、考え、まとめることができる。 c：生命の起源と生命の変遷、生物界の変遷と地球環境の変化、人類の起源と進化がわかる。 進化を裏付ける証拠や生物の変異と進化、自然選択によるしくみがわかる。生物の分類と系統の規準、原核生物の細菌と古細菌の特徴、原生生物・植物・菌・動物の分類と系統がわかる	定期考査	定期考査 プリント提出	ノート・プリント提出

※令和４年度以降入学生用

２学期	第５章　動物の反応と行動	刺激の受容 ニューロンとその興奮 情報の統合 刺激への反応 動物の行動	a: 受容器、神経系、効果器の詳細なしくみがわかる。環境に応じた反応をする動物の生得的行動と学習行動がわかる。 b: 受容器のはたらき、神経系の種類や情報の殿堂・伝達、効果器のはたらきについて考えることができる。生得的な行動と学習行動について考えることができる。 c: 外界の刺激を受容し、神経系を介して反応するしくみを学び、受容器や効果器のはたらきを理解しようとする。解剖を行い、体の構造を観察し、しくみの理解を深められる。	定期考査	定期考査 プリント提出	ノート・プリント提出
３学期	第６章　植物の環境応答	植物の生活と植物ホルモン 発芽の調節 成長の調節 器官の分化と花芽形成の調節 環境の変化に対する応答 配偶子形成と受精	a: 植物ホルモンのはたらき、発芽と成長の際の環境応答、開花の環境応答、光受容体がわかる。 b: 植物ホルモンのはたらき、植物の発芽と成長のしくみ、開花のしくみについて考えることができる。 c: 植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを調べようとする態度が育っている。	定期考査	定期考査 プリント提出	ノート・プリント提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度